

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
スパーキングサマーカップ	2019/8/22	SIII	川崎	1600m	ハイペース	重	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	トキノエクセレント	牡11	58	櫻井	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	C	C	C	C	C		
2	2	ザイディックメア	牡7	57	山崎	ゼンノロブロイ	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	B	B	B	B	B	B	△2	
3	3	ラーゴブルー	牝5	55	御神本	ハーツクライ	サンデー系	キングカメハメハ	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
	4	トキノバイレーツ	牡4	56	町田	モンテロッソ	ミスプロ系	タヤスツヨシ	サンデー系	B	B	B	B	B	B	○	
4	5	ハセノパイロ	牡4	57	森	パイロ	ナスルーラ系	ティンバーカントリー	ミスプロ系	D	A	B	C	C	C		
	6	シュテルングランツ	牡8	57	川島	ステイゴールド	ミスプロ系	Two Punch	ミスプロ系	C	C	D	D	D	D		
5	7	ソッサスプレイ	牡5	56	和田	コンデュイット	ナスルーラ系	スペシャルウィーク	サンデー系	C	B	B	B	B	A	▲	
	8	トロヴァオ	牡6	57	的場文	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントウ系	B	C	B	B	B	B	×1	
6	9	ロイヤルバンプ	牡7	57	真島	アグネスデジタル	ミスプロ系	タバスコキャット	ノーザン系	B	B	B	C	B	B	△3	
	10	サクラエール	牡8	57	伊藤裕	ケイムホーム	ミスプロ系	サクラホクトオー	ナスルーラ系	D	D	D	C	D	D		
7	11	センチュリオン	牡7	58	矢野	キングカメハメハ	ミスプロ系	ホワイトマズル	ノーザン系	A	A	B	B	A	B	◎	
	12	コンドルダンス	牡7	56	岡部	アドマイヤオーラ	サンデー系	キングヘイロー	ノーザン系	C	B	C	C	C	C		
8	13	ディアデルレイ	牡8	57	本田	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	C	B	C	C	B	×2	
	14	ハッピーズプリント	牡8	58	吉原	アツミラーレ	サンデー系	Dayjur	ノーザン系	C	A	C	B	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
シユテ ディア ラーゴ ロイヤ ザイデ センテ トキバ トロヴ ハセノ ハッピ トキエ ソッサ サクラ コンド	川崎マイラーズは逃げ、先行勢が圧倒的に強いレース。過去5年の勝ち馬は、18年ウェイトアンドシー（通過順1-1-1-1）、17年ケイアイレオーネ（同1-1-1-1）、16年ブルーチップパー（同1-1-1-1）、15年ブルーチップパー（同1-1-1-1）、14年トーセンアレス（同6-6-4-2）で逃げ馬が4連勝中。14年トーセンアレスも4コーナーでは2番手に位置しており、勝ち馬はすべて4コーナー2番手以内に該当している。ただし、今年はシュテルングランツ、ディアデルレイが徹底先行の構え。シュテルングランツは同厩舎のセンチュリオンをサポートするために逃げたいはずで、外枠を引いたディアデルレイも近2走の敗戦で今度は何が何でもハナを取りにいくだろう。直後には積極性のある真島騎手のロイヤルバンプ、正攻法の競馬がウリのラーゴブルーまで待機しており、さらに断然人気のセンチュリオンも早めに進出するとすれば、レース傾向通りの前残りのレースにはならなそうだ。今年は逃げ、先行勢には苦しい展開になると見て、「差しが決まる」ほうに賭けてみたい。それでは予想にいきましょう。	回顧
ハイペース	本命は能力最上位の センチュリオン を信頼する。2走前の大井記念ではモジアナフレイバー（帝王賞5着）の2着に好走し、3着タービランスに6馬身もつけた馬。（以下省略）	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	トキノエクセレント		前走は得意条件の浦和コースで11頭立ての6着に敗退。引き続き櫻井騎手では後方でただ回ってくるだけのレースになりそうで、精いっぱい走っても掲示板までだろう。		
2	2	ザイディックメア	△2	転入初戦のスーパーキングサマーチャレンジでいきなり勝利。走破時計は大して速くないものの、まだまだ余裕がありそうな走りだった。内枠からどう捌くかがカギも、叩き2走目で上積みがあれば、重賞でも通用していい。		
3	3	ラーゴブルー	△1	牡馬と久しぶりの対戦になるが、牝馬限定とはいえスタートグレードを制しており、南関東同士なら牡馬混合重賞でも十分に通用するだろう。前走スーパーキングレディーカップは休養明けの叩き2戦目で、馬体重が大幅に増加しており、いわゆる2走ボケだったのではないかと。展開的には微妙だが、能力的には圏内。		
	4	トキノパイレーツ	○	2走前に同舞台で行われた川崎マイルーズでは勝ち馬キャプテンキングから0.2秒差の4着に健闘。キャプテンキングは南関東マイル路線の最上位の存在で、その馬と僅差の競馬が出来たことは素直に評価していいだろう。前走スーパーキングサマーチャレンジはx本番に向けて「余裕残しの仕上げだった」とこのころ		
4	5	ハセノパイロ		古馬になってからの成長力が感じられない。前走は同条件の川崎マイルーズで勝ち馬キャプテンキングから2.0秒も離されての7着に敗れた。乗り替わりは不気味も、今回も苦戦濃厚なのでは。		
	6	シュテルングランツ		大井に移籍してから馬券に絡んだのはすべて2000m以上のレース。マイルは明らかに忙しい。4コーナーで外から被されて後退しているだろう。		
5	7	ソッサスブレイ	▲	前走ブラチナカップは距離が短く参考外の一戦（それでも上りはキタサンミカヅキと並んで3位タイだった）。2走前の皐月盃では1頭だけ抜けた上りをマークしてロイヤルパンプ、ヒラボクプリンス、クレイジーアクセルらを差し切っており、能力は重賞に入ってもヒケを取らないだろう。		
	8	トロヴァオ	×1	これまで南関東では1~4枠【3.3.2.3】、5~8枠【0.0.0.9】と両極端な成績を残している馬。今回は5枠8番。道中で前に壁を作れるかが重要なので、この枠なら上手く運べる可能性もあるが、難しい競馬にはなりそう。ガシガシ系の的場文男騎手だと馬が嫌気を差してしまいそうな気がする。		
6	9	ロイヤルパンプ	△3	同型のシュテルングランツ、ディアデルレイの存在が厄介。控えれば控えたでセンチュリオンに外から早めにプレッシャーを受けそうで、難しい立ち回りを強いられそう。被されると良くないので早めに動けるかがカギになる。		
	10	サクラエール		人気ほど舐められた馬ではないが、近走はJRAで3勝クラスに在籍していたケイマ、ファドークに完敗。JRAのオープンまで出世したセンチュリオン、ザイディックメアが相手ではさすがに能力不足と見ていいか。距離も1ハロン長い。		
7	11	センチュリオン	◎	2走前の大井記念ではモジアナフレイバー（帝王賞5着）の2着に好走し、3着ターピランスに6馬身もつけた馬。マイルは久しぶりになるが、JRA時代は東京ダート1600mのオアシスステークスで2着に好走した実績があり、距離自体は問題ないはず。		
	12	コンドルダンス		2走前の京成盃ランドマイルーズだけ走れば、ノーチャンスとはいえないが、17年サンタアニタトロフィー2着の後、馬券に絡めていない。後方からバテた馬を交わすだけのレースになりそうだ。		
8	13	ディアデルレイ	×2	近2走は大敗しているものの、逃げられなかったのでノーカウントと捉えて良さそう。4走前の報知グランプリカップでは逃げて勝ち馬ターピランスから0.4秒差の2着に好走しており、行き切れれば、ガラリイ変があるかもしれない。		
	14	ハッピープリント		17年以降、馬券に絡んだ2戦はともにオープン特別。大型でノッシノッシと走るタイプなので、小回りの川崎コースにも適性がないのでは。		